

大橋さん(高森町)大賞

第78回県美展

第78回県美展(県美術協会主催)の一般公募作品の審査があり、グランプリの県美大賞に高森高講師、大橋安佳里さん(24)＝高森町＝の日本画「雨催い」を選んだ。

受賞作は、傘を差し、しやがみ込む女性が雨に手を伸ばす様子を描いた日本画。「梅雨時と思われる情景だが、重さや暗さはなく、女性の表情と画面全体の色調から爽やかさを感じる。ほんの少し上に向けた視線が『未来』を示唆した秀作」と評価された。

県美展は、日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、デザイン(会友含む)の6部門。一般は128人から各1点の応募があり、入賞・入選には179点(会友含む)が選ばれた。



作品展は11月14～19日、熊本市中央区の県立美術館本館で。入賞・入選作を含む329点を展示する。

入賞・入選者(敬称略)

【日本画】▽県美大賞 大橋安佳里▽県知事賞 山崎秋美▽県文化協会賞 阿南優▽奨励賞 長尾百華、久原恵美

子▽努力賞 東堤愛依璃、米満雅▽会友賞 石川美由紀▽会員推挙 石川美由紀、片岡雪子、上野弘一、戸塚智子
【洋画】▽協会賞 中山寛▽熊本市賞 梅木久美日▽熊本日日新聞社賞 小田明美▽KKT賞 木下歌壽美▽KAB賞 緒方廣人▽奨励賞一席 釜賀猛▽同二席 吉川義隆▽同三席 前川直文▽同四席 坂下由紀子▽同五席 脇野風花▽同六席 佐藤昭▽努力賞 渡邊多美子、中村孝善、中嶋宏、里山陽香、赤星由紀子▽会友賞 下條久美子、福田由紀、福島露子、小笠原恵

子、辻本又慶、大塚厚子、今秋俵治▽会友推挙 中山寛、梅木久美日、釜賀猛、吉川義隆、坂下由紀子、佐藤昭、本山和一▽会員推挙 下條久美子、福井由紀、福島露子、小笠原恵子、辻本又慶、大塚厚子、今秋俵治、平田尚子、有働友明
【版画】▽協会賞 高野正子▽FMK賞 清田憲男▽奨励賞 野口汐子▽努力賞 池原妙子▽会友賞 桐原弘子
【彫刻】▽協会賞 安川弘造▽美術家連盟賞 足立麗▽奨励賞 上田有祐実▽努力賞 白木絢子、池田彩衣▽会友

賞 丸山登▽会員推挙 田中智也、藤山深諦
【工芸】▽協会賞 藤川耕生▽熊本伝統工芸館賞 渋谷良子▽美術館友の会賞 小串照彦▽奨励賞 松本莉奈、永廣笑花▽努力賞 木村順子、山本保良▽会友賞 三嶋裕二▽会友推挙 藤川耕生、小串照彦、木村順子
【デザイン】▽協会賞 今井ひかり▽RKK賞 平田奈菜子▽TKU賞 岩本奈羽▽奨励賞 瀧川希羽▽努力賞 徳田蒼生▽会友賞 該当者なし▽会友推挙 該当者なし

県美大賞を受賞した

3回目の挑戦で県美展グランプリを射止めた。「まさかいただけとは思っていなかったの、本当にびっくりしました」と笑顔を見せる。

受賞作「雨催い」では、アジサイの花を背景に、傘の下から雨に手を伸ばす女性を優美に描いた。雨を見てみると、「心が落ち着く」という。温気を含んだ空気や、水面の光の反射、花を伝う滴の美しさを表現しようと今作に臨んだ。

幼い頃から絵を描くのが好きで、熊本北高では美術部に所属していたが、大学に入るまで「幼

大橋 安佳里さん

ひと

強らしい勉強はしていなかった。転機は高校3年。制作の場を失った熊本地震の被災者向けに崇城大が開いた講習会に参加した。そこでデッサンを学んだのをきっかけに、同大の芸術学部美術学科日本画コースに進



学。本格的に絵画の道を歩き始めた。

入学当初は人物をどう描けばいいのか分からず、戸惑ったことも。肌を表現するのにあえて青や紫を使う教授が「魔法使いに見えた」。さまざまな色への見方が生み出す日本画特有の透明感に夢中になった。

大学院を修了し、今春から高森高マンガ学科で美術を教える。やりたいことを真剣に学ぶ生徒たちから刺激をもらう毎日だ。「これからも制作は続けていきたい。次は雰囲気を変えて、恐竜の骨をモチーフにした大作に挑戦したいと思っています」と目標を語る。

熊本市出身。24歳。